

令和8年6月16日

件名 令和8年度 企画展「美しいユートピア 理想の地を夢みた近代日本の群像」

- 1 趣旨 別紙要項のとおり
- 2 会期 令和8(2026)年7月18日(土)～9月23日(水・祝)
- 3 主催・会場 高崎市美術館
- 4 開館時間 午前10時～午後6時、金曜日のみ午前10時～午後8時
(入館はいずれも閉館の30分前まで)
- 5 休館日 毎週月曜日(7月20日、9月21日は開館)および7月21日(火)、
8月12日(水)
【会期中の休館日：7月21日(火)・27日(月)、8月3日(月)・10日
(月)・12日(水)・17日(月)・24日(月)・31日(月)、
9月7日(月)・14日(月)】
- 6 観覧料 一般600(500)円 大学・高校生300(250)円
*()内は20名以上の団体割引料金
*インターネット割引券をご提示で2名様まで()内の料金でご覧いただけます。
*身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けた方および付き添いの方1名は無料でご覧いただけます。
受付で手帳または障害者手帳アプリ「ミライロID」をご提示ください。
*65歳以上の方は無料でご覧いただけます。年齢の証明ができるもの(マイナンバーカード、運転免許証、保険証等)を受付でご提示ください。
*大学・高校生は大高生料金でご覧いただけます。学生証を受付でご提示ください。
*中学生以下は無料でご覧いただけます。

【本件に関する問い合わせ】

総務部文化課高崎市美術館

電話：027-324-6125

Beautifulユートピア

高崎市美術館

TAKASAKI MUSEUM OF ART

7.18 土 → 9.23 水祝

休館日=毎週月曜日

祝日の場合は開館し、翌日休館、
8月12日(水)

[会期中の休館日=7月21日

(火)・27日(月)、8月3日(月)・

10日(月)・12日(水)・17日

(月)・24日(月)・31日(月)、

9月7日(月)・14日(月)]

1. ウィリアム・モリス著、ケルムスコット・プレス刊『ユートピア便り』1892年、TOPPANホールディングス株式会社印刷博物館蔵
2. 横堀角次郎《静物》1922年、群馬県立近代美術館蔵 | 3. 宮澤賢治《日輪と山》制作年不詳、林風舎蔵、資料提供=本展
4. 竹久夢二《紫名山脈》(複製) 1931年、公益財団法人竹久夢二伊香保記念館蔵 | 5. 瀧澤真只、日本農民美術研究所、撮影=1993年、上田市立美術館蔵 | 6. 松本孝介《立てる像下絵》1942年、神奈川県立近代美術館蔵 | 7. 立原道造《Lodge and Cottages》1937年、軽井沢高原文庫蔵 | 8. フォントニッポン・レーモン・群馬音楽センター内観透視図 1958年、レーモンド設計事務所蔵

開館時間=午前10時~午後6時、

金曜日のみ午前10時~午後8時(入館は閉館30分前まで)

旧井上房一郎邸[邸内] 午前10時~11時、午後2時~4時

[庭園] 午前10時~午後6時(入園は閉園30分前まで)

主催=高崎市美術館

後援=一般社団法人日本建築学会、公益社団法人日本建築家協会

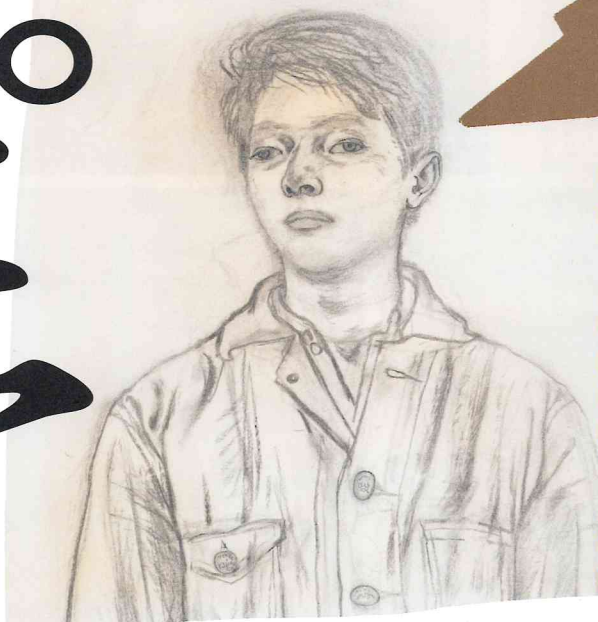
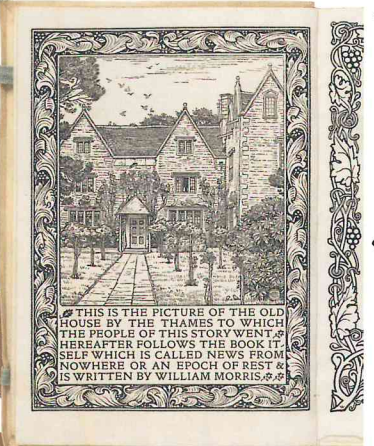
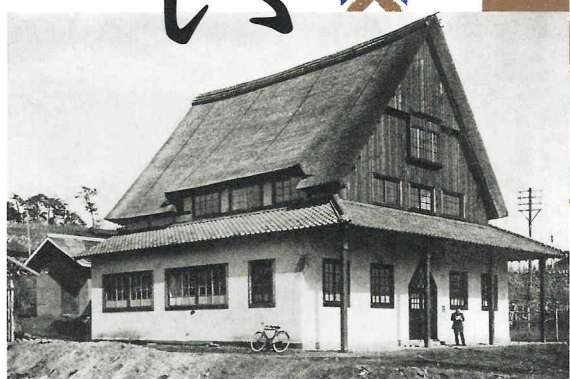
企画協力=株式会社TNCプロジェクト

1. William Morris, (author and designer), *News from Nowhere*, 1892, TOPPAN Holdings Inc. Printing Museum, Tokyo / 2. Kakujiro Yokobori, *Still Life*, 1922, The Museum of Modern Art, Gunma / 3. Kenji Miyazawa, *Sun and Mountain*, n.d., Collection of RINPOOSYA / 4. Yumeji Takehisa, *Haruna Sanfu* (Reproduction), 1931, Takehisa Yumeji Ikaho Memorial / 5. Mayumi Takizawa, *Nihon Nomin-Bijutsu Kenkyujo* (Japan Peasant Art Institute). Photographed in: 1923, Ueda City Museum of Art / 6. Shunsuke Matsumoto, *Study for Standing Figure*, 1942, The Museum of Modern Art, Kamakura & Hayama / 7. Michizo Tachihara, *Lodge and Cottages*, 1937, The Literary Museum of Karuizawa / 8. Antonin Raymond, *Gunma Music Hall* (Takasaki, Project 1961), Perspective, 1958. RAYMOND ARCHITECTURAL DESIGN OFFICE 8, 9 ©The Raymond Family

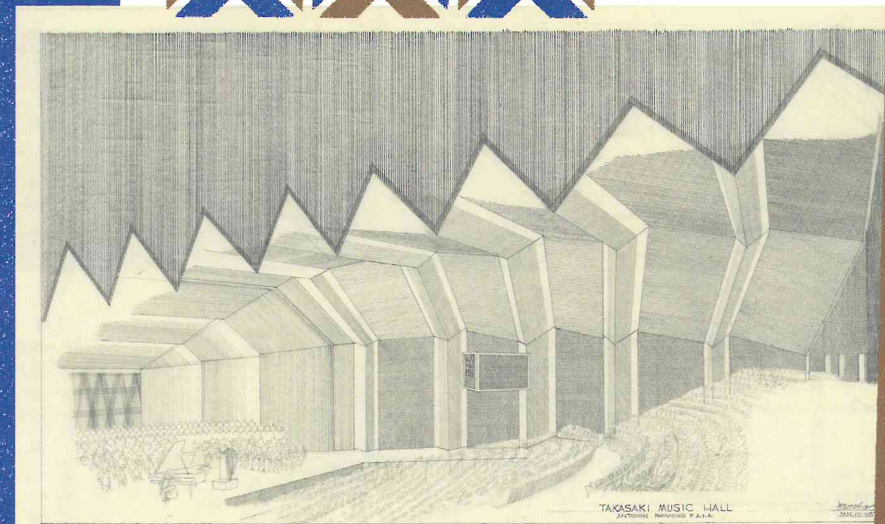
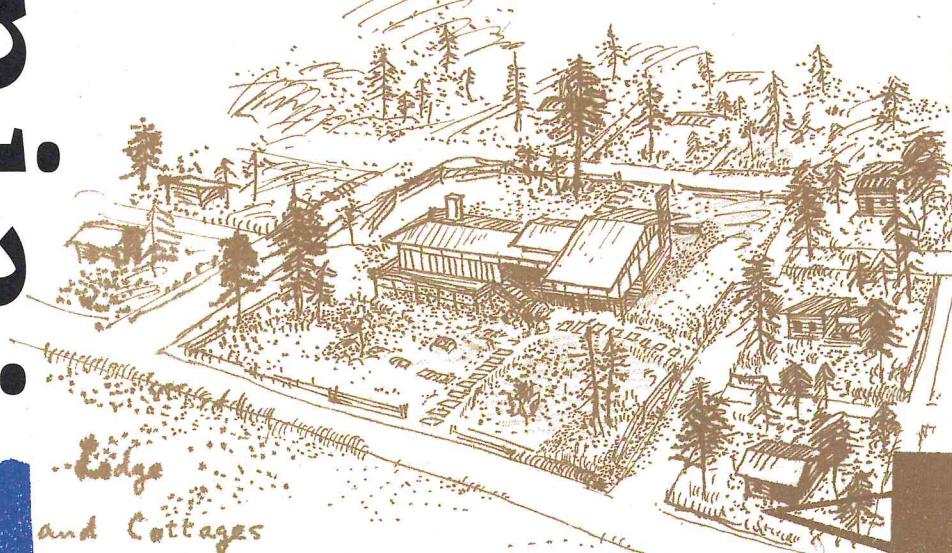
観覧料=一般 600 (500) 円 大高生 300 (250) 円

* () 内は20名以上の団体割引料金。インターネット割引券をご提示で2名様まで () 内の料金でご覧いただけます。* 半券 (割引記載のあるもの) をお持ちいただいた方は2回目以降は () 内の料金でご覧いただけます。* 身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けた方および付き添いの方1名は無料でご覧いただけます。受付で手帳または障害者手帳アプリ [マイID] をご提示ください。* 65歳以上の方は無料でご覧いただけます。年齢の証明ができるもの (マイナンバーカード、運転免許証等) を受付でご提示ください。* 大学・高校生は大高生料金でご覧いただけます。学生証を受付でご提示ください。* 中学生以下の方は無料でご覧いただけます。

高崎市美術館 〒370-0849 群馬県高崎市八島町 110-27 tel.027-324-6125



理想の地を夢みた近代日本の群像



1 1849-1929

ユートピアへの憧れ

「西欧に憧れ、アジアにめざめる。雑誌『白樺』、「民藝」運動などから20世紀日本の理想主義が芽生える」

ジョン・ラスキン、ウィリアム・モリスの影響を受けた20世紀日本の理想主義を紹介します。20世紀の日本では「民」が一つのキーワードでした。西欧美術に憧れ、やがて自らのルーツを振り返った雑誌『白樺』や「民藝」運動は、「民」をめぐる前後の理想主義を代表します。



1.バーナード・リーチ《ゴシックの精神(セント・ルーク教会)》1907年、日本民藝館蔵|2.岸田劉生《B.L.の肖像(バーナード・リーチ像)》1913年、東京国立近代美術館蔵|3.バーナード・リーチ《生命の木のモチーフのある湯呑》1913-17年、個人蔵(梅原龍三郎旧蔵)



19世紀英国の作家ウィリアム・モリスは、工芸運動「アーツ・アンド・クラフツ」で「ユートピア＝理想の地」をめざします。その影響を受けた20世紀日本では芸術、工芸、建築デザインと暮らしの融合が図られました。この展覧会では美しい暮らしを求めた竹久夢二、宮沢賢治、松本竣介などによる芸術運動や作品から同時代の理想を振り返り、それぞれの「ユートピア」をもとに、未来を思い描く方法を探ります。

3 1926-1949

夢みる都市と郊外のコミュニティ

「関東大震災後、郊外アトリエや芸術家村が生まれる。その交友から「新人画会」が理想を戦後へつなぐ」
蔵田周忠や立原道造など、建築家や詩人による関東大震災後の郊外アトリエや芸術家コロニーへの夢を紹介します。アトリエ村の一つ、池袋モンパルナスなどの交友に始まる「新人画会」の理想は、のちに戦後美術の起点とされました。

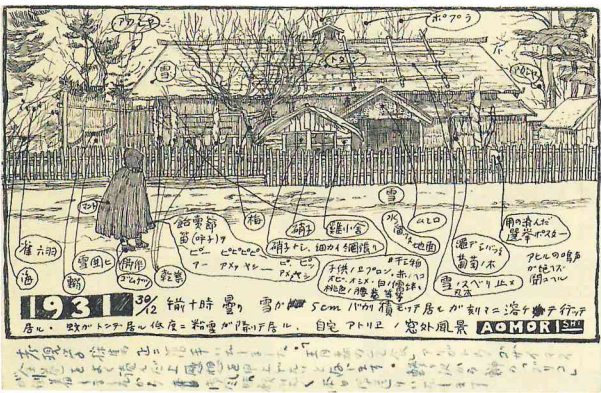


6. 立原道造「猪野謙二に贈った椅子」1938年頃、個人蔵|7. 松本竣介《ニコライ堂の横の道》1941年頃、公益財団法人大川美術館蔵|8. 寺田政明《谷中真島町(モデル抜付近)》1932年、板橋区立美術館蔵|9. 「麻生三郎出征の日(左より井上長三郎、松本竣介、麻生三郎、園田猛、金子英雄)」撮影＝1944年、板橋区立美術館蔵



展覧会のポイント

- この展覧会では暮らしにまつわる過去をたずね、未来を夢みるさまざまな運動を、「ユートピア」と呼びます。
- 「美しさ」にまつわる芸術、工芸、建築にテーマを絞り、暮らしの中の「美しいユートピア」をみつめます。
- 20世紀日本のユートピアを振り返り、今日のユートピアを思い描く方法を探ります。



2 1917-1943

たずね求める周縁、国外でのフィールドワーク

「民家研究、民具調査など「民」をめぐるフィールドワークが、ジャンルや国境を越えてミュージアムを育む」
近代化するみずからの足元をみつめた、民家や民具などをめぐるフィールドワークを紹介します。農山漁村や周辺地域、民族をたずねる交流はジャンルや国境を越えて、失われてゆく「民」を記録し、未来へつなぐ「ミュージアム」を育みました。



4. 今純三「考現学調査葉書 自宅アトリエの窓外風景」1931年、工学院大学 学術情報センター工手の泉蔵|5. 玉生道経撮影「北設楽郡本郷町中在家の花祭朝鬼面」1933年10月2日-3日(推定)、神奈川県立日本常民文化研究所蔵



4 1919-1936

試みるそれぞれの郷土で

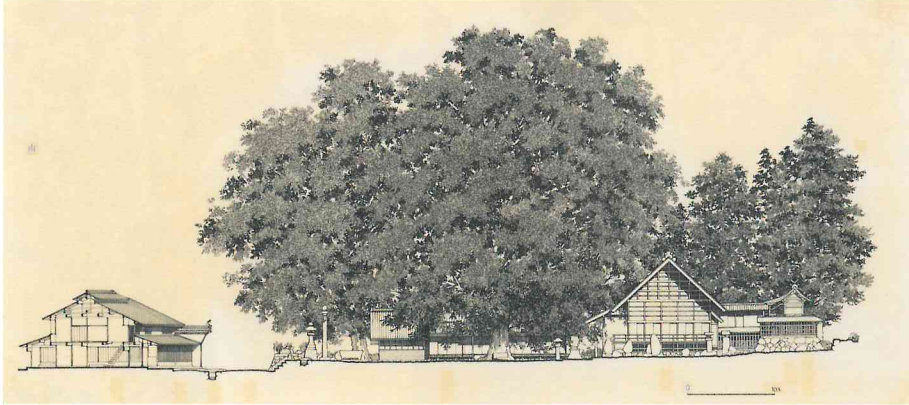
「山本鼎、宮沢賢治、竹久夢二、ブルーノ・タウト…郷土や「ドリームランド」で表現者の実践が始まる」
山本鼎、宮沢賢治の農民芸術運動や、竹久夢二、ブルーノ・タウトの美術工芸運動は、郷土や「ドリームランド」としての「ふるさと」に、美しい暮らしをもたらそうとする表現者たちの協働の場でした。同時代、官、民による郷土改良や産業化が始まりました。
10. ミラテス用試作品「ウールマフラー」1935年頃、高崎市美術館蔵|11. 山本鼎「芸術の会ポスター《芸術の日》」1922年、上田市立美術館蔵|12. 宮沢賢治《無題(月夜のでんしんばしら)》制作年不詳、林風舎蔵、資料提供＝林風舎|13. ブルーノ・タウト「ヤーンバスケット」1934-36年、群馬県立歴史博物館蔵



5 1958-1993

ふりかえる／よみがえるユートピアのゆくえ

「戦後復興をデザインする芸術・建築と、「失われてゆく世界」を記録する運動とが前後して生まれ…」
芸術、建築による都市再生をめざした井上房一郎とレーモンド夫妻、磯崎新たちの試みと、産業化で失われてゆく集落、民家を調査記録した「デザインサーヴェイ」が前後して始まりました。立原道造らの夢の名残も紹介します。



14. アントニン・レーモンド《フレスコ壁画のためのスケッチ》1961年、高崎市美術館蔵|15. 工学院大学建築学科伊藤ていじ研究室「旧海野宿南北断面図」1979年、工学院大学 学術情報センター工手の泉蔵

イベント

1. 講演会

祖父、清六から聞いた宮澤賢治

講師＝宮澤和樹氏(宮沢賢治実弟清六の孫、株式会社 林風舎代表取締役)
日時＝7月18日(土)午後1時30分より
場所＝高崎市南公民館
定員＝80名(予約先着順、参加無料)

2. ワークショップ

美しいかだんとおうちのユートピア

宮沢賢治と立原道造の設計をもとに、ペーパークラフトを作ります。
講師＝当館スタッフ
日時＝8月1日(土)、8月2日(日)いずれも午後1時より
場所＝高崎市南公民館
定員＝各20名(予約先着順、小学3年生以下は保護者同伴)
材料費＝300円
ご用意いただくもの＝絵具などの画材(画材は美術館でもご用意いたします)、カッター、はさみ。

申し込み方法＝1、2は7月1日(水)午前10時より高崎市美術館(tel.027-324-6125)にて電話受付。

3. 巡回館学芸員ギャラリートーク

7月19日(日)午後2時より
大村理恵子氏(バナソニック沙留美術館)「建築のユートピア」
7月20日(月祝)午後2時より
山極佳子氏(上田市立美術館)「農民美術のユートピア」
9月13日(日)午後2時より
住田常生(高崎市美術館)「たかさきのユートピア」
場所＝高崎市美術館展示室(予約不要、要観覧料)

4. おしゃべりミュージアム

巡回館学芸員クロストーク

美しいユートピア」巡回館学芸員の対談後、参加者とフリートークを行います。
日時＝9月23日(水祝)午後2時より
場所＝高崎市美術館展示室(予約不要、要観覧料)
*内容の変更、中止となる場合があります。最新情報はホームページ・SNSでご確認ください。

展覧会のお知らせ

高崎市タワー美術館

鳥を愛でたい

日時＝7月11日(土)～9月27日(日)
お問い合わせ＝tel. 027-330-3773

